

# 2012年3月期 第1四半期決算説明資料

2011年8月  
小野建株式会社

## CONTENTS

- ・ 2012年3月期 1Q総括
- ・ 経営概況、今後の経営環境
- ・ 四半期業績の推移(単体)、品種別販売状況(単体)
- ・ 連結損益計算書、連結貸借対照表

### 将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

## 2012年3月期1Q総括 前期および計画との差異

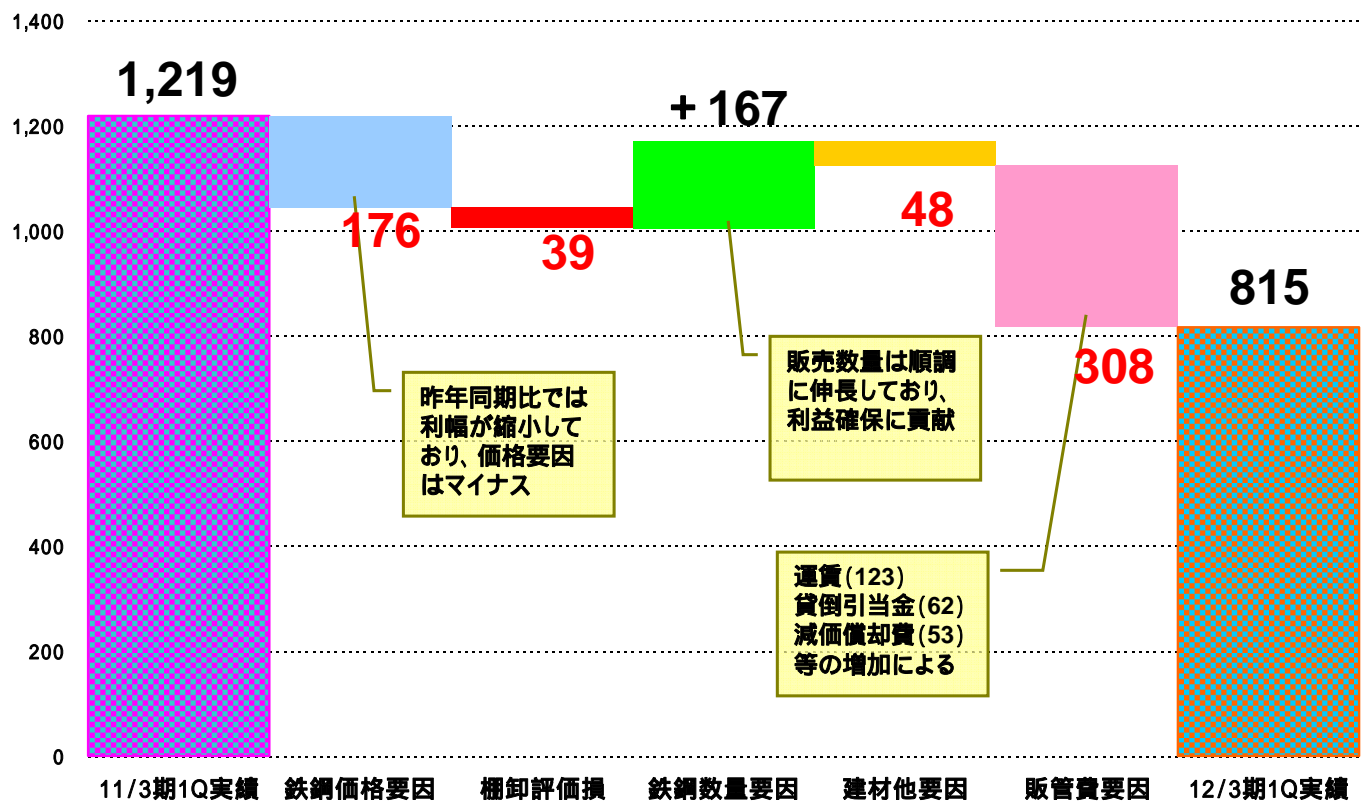
- 鉄鋼市況が大幅に上昇した前期実績には達しなかったものの、計画比では増収増益となり、通期計画へ向けて順調な巡航速度で推移。

(百万円)

	2011/3期 1Q実績	2012/3期 1Q計画	2012/3期 1Q実績	計画差異	2012/3期 通期計画
売上高	29,568	31,683	32,167	+ 484 (+ 1.5%)	137,055
売上総利益	2,904	2,660	2,808	+ 148 (+ 5.6%)	11,060
営業利益	1,219	800	815	+ 15 (+ 1.9%)	3,457
経常利益	1,261	826	863	+ 37 (+ 4.5%)	3,538
当期純利益	924	486	515	+ 29 (+ 6.0%)	2,090

## 2012年3月期1Q総括 営業利益/前年同期比変化要因

(百万円)



## 2012年3月期1Qの経営概況とトピックス

### • 需要動向

- 4月までは前期末から引き続き震災復旧も含め、需要は堅調に推移
- 5月以降は需要の一服感が顕著

### • 市況動向

- 1月以降、鉄鋼原材料価格の上昇にともない、市況は強含みで推移
- 5月以降は需要の一服感とスクラップ価格の反落により軟調に推移
- 高炉メーカー各社は原材料価格動向を背景に強気姿勢を崩さず

### • 震災後の現況

- 仙台ヤードは完全に復旧、八戸ヤードも被災在庫の入替完了
- ただし、一部岸壁の未復旧ならびに福島原発の影響により、船積みでのデリバリーが滞っており、川崎・浦安の各ヤードからの陸送を多用しているため、運賃コストは増大

## 2012年3月期 今後の経営環境

### • 震災復興需要の動向

- 秋以降徐々に発生し、広範囲・長期に渡る見込み
- 被災地のみならず、各地に耐震補強の促進や工場移転など、幅広く需要は拡大

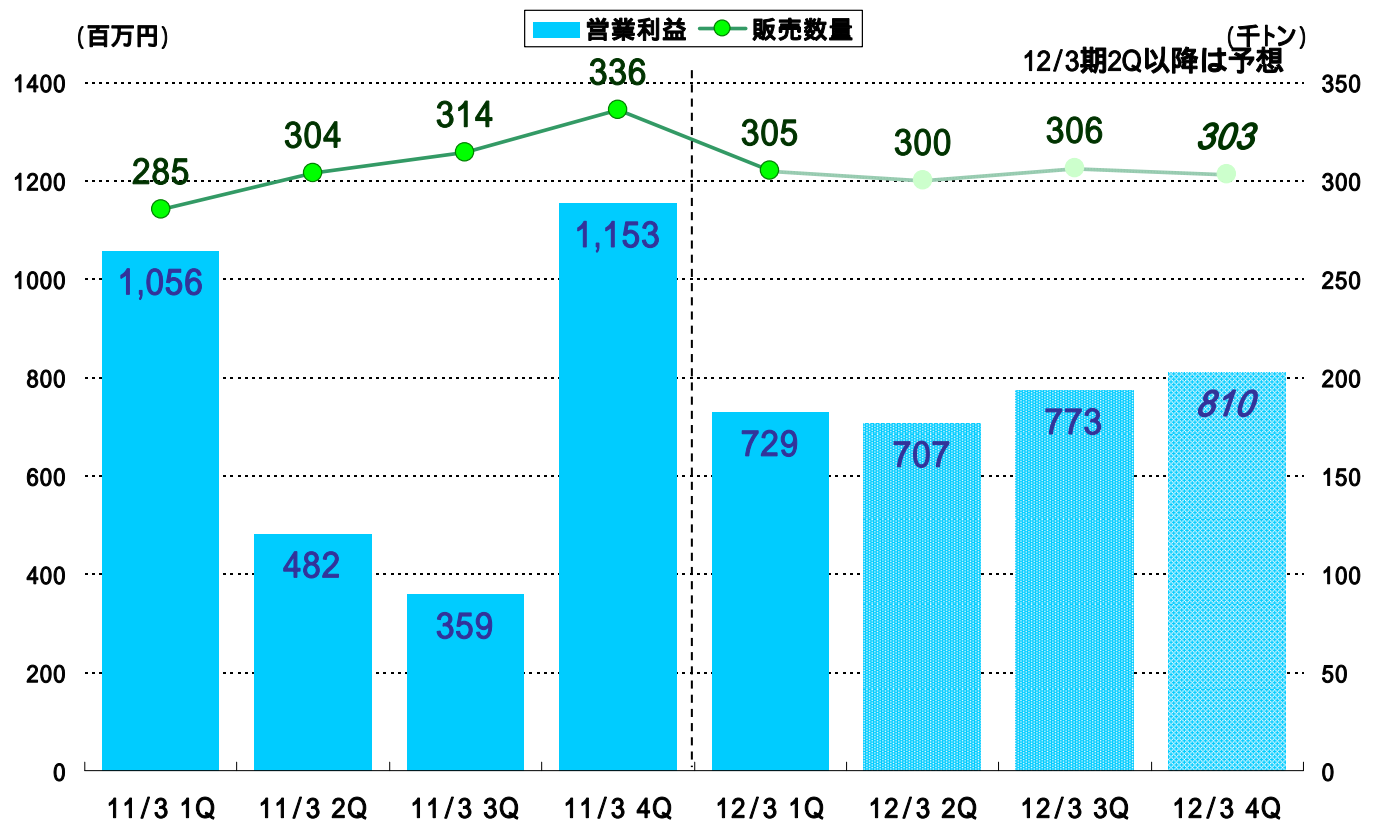
### • 東アジア圏を中心とした鉄鋼国際マーケットの動向

- 中国の成長が鈍化・韓国の生産設備の増強・為替の円高基調などにより、各国とも輸出に注力し価格は軟化する兆し
- 引き続き、状況に応じて輸入鋼材を活用

### • 市中在庫の状況、需給バランスについて

- 足元は若干の在庫調整は必要となるものの、需給バランスは大きく崩れず、今後の需要動向次第

## 2011/3期と2012/3期四半期業績の推移比較(小野建単体)



## 品種別販売状況(小野建単体)

	(百万円・千トン)					
	11/3 1Q実績	12/3 1Q計画	12/3 1Q実績	12/3上期計画	12/3下期計画	12/3通期計画
鋼板類	8,325	8,560	10,510	17,205	16,404	33,609
(販売数量)	115	115	137	231	221	452
売上総利益	695	648	749	1,298	1,255	2,553
条鋼類	8,335	9,231	8,950	18,641	18,743	37,384
(販売数量)	91	103	95	209	210	419
売上総利益	1,041	871	1,040	1,749	1,756	3,505
丸鋼類	5,110	5,200	5,075	10,889	11,754	22,643
(販売数量)	78	78	72	165	178	343
売上総利益	306	286	233	601	650	1,251
建設機材商品	2,191	2,538	2,420	5,704	6,744	12,448
売上総利益	117	130	120	294	344	638
建設機材工事	3,182	3,420	2,264	8,524	10,649	19,173
売上総利益	159	175	108	443	565	1,008
その他事業収入	183	152	187	301	299	600
売上総利益	110	79	110	154	151	305
売上高	27,328	29,104	29,409	61,267	64,592	125,859
(販売数量)	285	298	305	605	611	1,216
売上総利益	2,431	2,192	2,363	4,541	4,721	9,262

## 連結損益計算書(解説)

### ● 前期2011年3月期の状況振り返り

- 前期は鉄鋼商品市況が不安定に推移し、四半期ごとに業績が大きく変化
  - 2010年2月から5月にかけて、鉄鋼原材料の先高感により仮需が発生し、在庫販売を中心に通常以上の利益スプレッドとなり、通期利益の3割以上を計上したものの、その反動もあり2Q、3Qは苦戦、4Qに盛り返す状況

### ● 2012年3月期の進捗について

- 予算を若干上回る進捗となっており、販売数量もともない順調に推移、2Q以降も底堅い需要を着実に受注に結びつけることに注力
  - 耐震補強など公共工事は堅調、民間も大きな落ち込みの可能性は低い

「販売エリアの拡大」

1月北陸、4月滋賀など、全国各地へ着実な拠点開設を展開

「販売シェアの向上」

ヤード毎の商品の拡充と営業担当者の増員など、地域密着型営業強化が進展

## 連結損益計算書

(百万円)

	11/3 1Q実績	12/3 1Q計画	12/3 1Q実績	12/3上期計画	12/3下期計画	12/3通期計画
売上高	29,568	31,683	32,167	66,455	70,600	137,055
売上原価	26,664	29,022	29,359	61,006	64,989	125,995
売上総利益	2,904	2,660	2,808	5,450	5,610	11,060
販売費及び一般管理費	1,684	1,861	1,993	3,782	3,703	7,485
営業利益	1,219	800	815	1,668	1,789	3,457
営業外収益	71	50	71	94	85	179
営業外費用	29	24	23	47	51	98
経常利益	1,261	826	863	1,715	1,823	3,538
特別利益	333	-	1	-	-	-
特別損失	99	-	0	-	-	-
税引前当期純利益	1,494	826	864	1,715	1,823	3,538
法人税・住民税及び事業税	523	337	344	703	733	1,436
当期純利益	924	486	515	1,006	1,084	2,090



## 連結貸借対照表(解説)

- 商品及び製品、原材料及び貯蔵品
  - － 数量:147千t・単価:66円/kg (2010/9)
  - 数量:143千t・単価:67円/kg (2011/3)
  - 数量:187千t・単価:72円/kg (2011/6)
  
- 短期借入金
  - － 在庫量の増加にともない、在庫仕入分の支払いが増加したもの
    - 在庫量は今後、若干の減少を見込む
  - － 仕入れ支払いの短期化にともなうもの
    - 仕入割引により仕入コスト削減、支払利息との金利分差額で増益要因

## 連結貸借対照表

各詳細項目は主要項目のみを記載しております (百万円)

	10/9実績	11/3実績	11/6実績
<b>流動資産</b>	54,411	59,295	62,100
現金及び預金	1,376	1,288	1,395
受取手形及び売掛金	39,109	45,517	43,453
商品及び製品、原材料及び貯蔵品	10,851	10,603	14,695
<b>固定資産</b>	33,734	32,976	32,654
有形固定資産	31,835	31,231	30,962
投資その他の資産	1,387	1,309	1,293
<b>資産合計</b>	88,146	92,272	94,755
<b>流動負債</b>	42,126	45,642	47,959
支払手形及び買掛金	25,459	27,237	25,339
短期借入金	13,600	15,800	19,800
一年以内返済予定長期借入	300	79	67
<b>固定負債</b>	1,522	1,325	1,307
社債	100	-	-
長期借入金	102	72	60
<b>負債合計</b>	43,648	46,968	49,266
<b>株主資本</b>	44,368	45,094	45,299
資本金	3,780	3,780	3,780
<b>純資産合計</b>	44,498	45,303	45,488
<b>負債・純資産合計</b>	88,146	92,272	94,755